



自転車にピンクの
花びらはりつけて
校門くぐる君は先輩



4月10日(水) 登校時。
登校してくる生徒たちの自転車(タイヤやフレーム)に、桜の花びらがびっしりと貼りついていました。前日の雨で散った桜が道路をピンク色に染める中、希望を胸に元気よく自転車をこぐ姿が浮かんできました。

がんばれ! 青春どまんなか!

中学生
たち

7年生も、ラストの坂道を元気に立ちまがで登ってきます。この1本keepのためにも朝ごはんはしっかり食べよう!!



“ピンク”のプライド!

★入学式式辞の導入で、以下の話をしました。(出典:光村図書出版『国語 2』言葉の力より)

「京都で、着物を染める職人をされているSさんの話です。Sさんは、着物をピンク色に染める時には桜を使うそうです。桜といえば『花びらを使って染める』と思っていた私はとても驚きました。実は、あえて黒いごつごつした桜の皮を使って染めると、美しいピンクになるといいます。

想像してみてください。今まさに花となって咲き出ようとしている桜の木。花びらだけでなく、木全体で必死になって最高のピンクの色になる姿。桜は「幹」も「根」も「皮」も含めて全身でピンクに色づいていくんです。

今、胸元に、その桜色ピンクのネクタイを締めて、凛々しい態度でこちらを向いている56名の皆さん、入学おめでとうございます。いよいよ今日から伝統ある法勝寺中学校の生徒です。…」

入学式後に、ある3年生が話しかけてくれました。

「校長先生、ようやく制服のネクタイをピンクにした理由がわかりました。…なんか、いいっすね。」
彼女が語った“いいっすね”こそ、法中プライドだと感じました。地域の方の想いがぎゅっと詰まったこの制服を、「ピンクプライド」を感じながら、かっこよく着てほしいです。



地域の”熱い大人”列伝 その1



公益社団法人青年海外協力隊員(JOCA 南部)として、南部町に派遣され、現在は法勝寺児童館で働かれている「バスネットアビシエイク シン」さんです。彼はネパールのご出身ですが、日本語も堪能で、現2年生は昨年、総合的な学習で講師としてもお世話になりました。今年度、ご本人の勤務が休みの時に限りですが、中学校で学習支援をしていただく予定です。R6年度は、このように地域におられる熱い大人たちにお世話になることが多くなります。地域の皆様の力をどうぞお貸してください。

3年生
の名言

■今年は総体の一回戦、絶対に勝ちます! まじ去年は悔しかったんで・・・

■目標は、疲れていても、最低でも1時間以上は毎日勉強するってことです。3年なんで・・・

(笑)

美び

新一年生のパワーが凄まじいです。時間ぴったりに掃除を開始し、10分間近く、ひたすら雑巾で廊下を往復する姿は、やっぱりかっこいい。そして、その行動は、信頼獲得の証に他ならない。掃除隊のみなさんの行動は、法中の新たな伝統文化になっていくと確信できました。

「責任をもって

廊下を磨くのだ」

雑巾隊の

頼もし五人



..のおお
生き方



水に、いろいろな言葉を見せたり音楽を聞かせ、水の結晶を撮った『水からの伝言(波動教育社発行)』というタイトルの写真集があります。その写真の1枚に目が留まりました。「ありがとう」や「きれい」などの言葉をかけた結晶は美しい模様をしています。が、「ばかやろう」や「ムカつく」という言葉をかけた結晶はこなごなになって形が崩れています。町長さんが入学式の祝辞で、私たちに語っていただいたメッセージも同じことなのだと思います。

人間の体は約70%が水でできています。暴言のたびに体の結晶も破壊されていく..ならば、自分の体や心を守るためにも、美しい言葉で喝采できたら、身体も心も「幸せ」だと感じました。

「暴言を放ち

傷つくのは我」と

町長語りし

入学式で

「かつこよさ」

一時停止の

自転車も歩く姿も

会釈の君も



プロ教師
列伝
その1

担任は、ホワイトボードに、昨日のふりかえりや今日の目標等をメッセージ形式で記入します。生徒が登校する前に”熱い”メッセージを記入し、「言葉」で空気を作っていきます。今週末に大山研修を控えており、生徒も教師もフレッシュな「気」に包まれている1年B組の朝の様子でした。

(スタート担任:田村真弥)



生徒
の名言

- 階段にスリッパ落としておいたら、だれかが拾ってシンデレラ姫みたいな恋愛できんかな?
- 四つ葉のクローバー見つけたので、あげます。幸せになりますよ。
- 3つの「や」に気をつけてがんばる。..やる気・やり方・やりつづける!!

